

がたんごん、電車が走ります！

H31.2.6(水)



牛乳パック積み木を電車に見立て、お客さんに動物のお手五人形を乗せています。月齢の高い子どもたちは、「長くなったよ！」とお友だちと繋げて、「がたんごん」「出発します！」と動かしています。積み木で駅も作り、「垂水駅です」と知っている駅の名前も言葉のやりとりの中で出てきています。並行遊びの始まりです！！

「面白そうだな」と、月齢の高い子どもたちの遊びをじっと見ている。「いつかほくたちもやってみたいな～」という意欲につながっていくことでしょう。



数日後、遊びをじっと見ていた月齢の低い子どもたちも、保育者が線路を並べると、同じように牛乳パック積み木に動物の人形を乗せて、走らせて遊ぶようになりました。同じ遊具を使い、イメージを共有して遊べるようになってきました。こうした共感の関係が後のごっこ遊びへと繋がっていきます。

運動遊びの遊具も線路に変身！「ポッポー」といいながら、落ちないようにそーっと走らせています。ハラハラしながらも自分の遊びを発展させていく力が育ってきましたね。